

2020 年度第 1 回情報教育研究委員会データサイエンス分科会議事概要

I. 日 時：令和2年4月17日（金）18：00～20：00

II. 場 所：Microsoft Teams ネット会議室

III. 出席者：渡辺主査、今泉委員、大原委員、西川委員、後藤委員
（事務局）井端事務局長、野本

IV. 議事内容

1. 数理・データサイエンス・AI 教育支援プラットフォームの更新・充実について

モデルカリキュラムの内容・進捗などを確認し、プラットフォームの更新を進めることにした。

（1）「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム～データ思考の涵養～」

- ・ 意見募集を経て公表されており、概要を確認するとともに、プラットフォームの What's News を更新することにした。
- ・ 意見募集の中には、情報処理学会から「一般情報教育モデル」が相補的であるとして、同ページに参考情報として掲載されている。
- ・ 今回は、リテラシーレベルであり、基礎・応用段階はコンソーシアムで継続検討され、入試に情報が入り高校のレベルが上がる4年後にはレベルを上げて見直しかける予定がされている。

（2）オンライン講座整備計画やAI活用教育の取組みの掲載

- ・ 放送大学では、他大学での単位認定を想定した教育プログラムを準備中であり、概要が掲載できればイメージしやすく、9月の教育イノベーション大会でも紹介してはどうか。
- ・ 株式会社オプテックでは、学習させた AI 利用の「治療計画 AI」ビデオが掲載されており、AI 活用事例の一つとして掲載してはどうか。

（3）大学と社会が連携したデータサイエンス・AI 教育を進める中での取組み状況の紹介について

- ・ データサイエンス(DS)・AI 教育の取組みについてのアンケートが提示され、一部の用語を修正し、依頼文書を作成の上、8 大学に問い合わせを行い、回答の得られたものはプラットフォームに掲載を行うことにした。

V. 今後のスケジュール

次回の分科会は、7 月 10 日に開催し、「大学における数理・データサイエンス・AI 教育支援プラットフォーム」の更新・充実について引き続き検討することになっている。